

ハローワークからのお知らせ

○今年度新設された人材開発支援助成金（「人への投資促進コース」）について

デジタル人材・高度人材の育成、サブスクリプション型の定額制訓練（1訓練当たりの対象経費が明確でなく、同額で複数の訓練を受けられるeラーニング及び同時双方向型の通信訓練で実施されるもの）や自発的能力開発の促進等に取り組む事業主の方を対象とした助成金です。詳細は2～3頁をご覧ください。

（問い合わせ先：宮城労働局職業対策課助成金センター TEL022-205-9855）

○令和5年3月卒業予定の高卒求人を申し込んだ事業主の皆様へ

採者が決定した場合は、求人票返戻時にお渡しした「新規高等学校卒業生採用内定（決定）報告書」にご記入いただき、必ずハローワークにご連絡ください。ご不明な点は当所学卒担当（TEL22-2531）あてにお問い合わせ願います。

○労働者を一人でも雇ったら労働保険（労災保険・雇用保険）の手続きを！労働保険の加入義務の有無などをご確認ください。

労働市場の動き(9月内容)

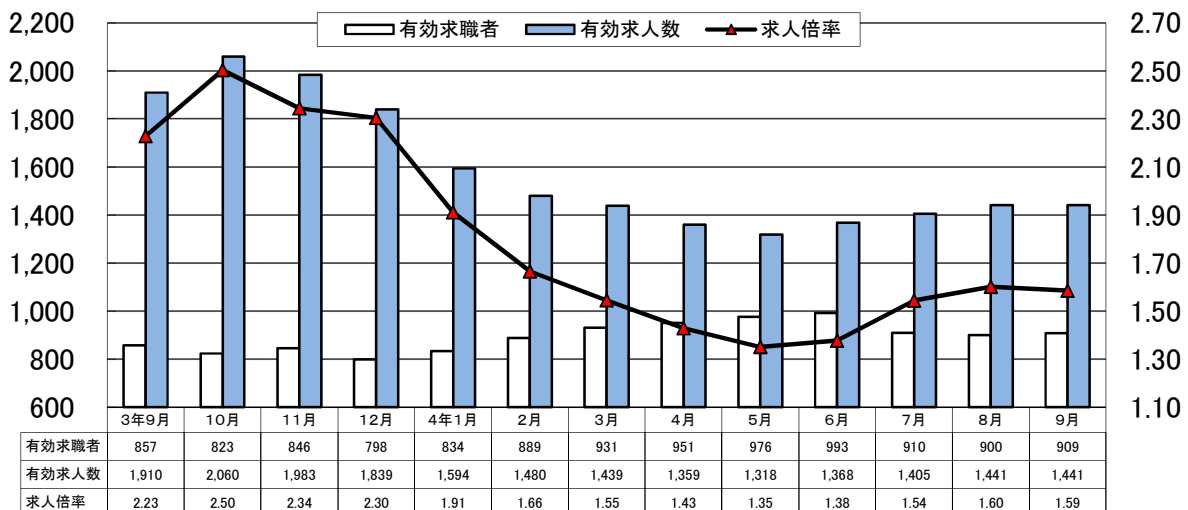
ハローワーク築館管内の求人・求職者の動向



◆9月の有効求人倍率は1.59倍

◆月間有効求人数は1,441人、月間有効求職者数は909人

- ・新規求人数は540人と、前月に比べ13.7%の減少となり、前年同月比でも22.3%の減少となりました。
- ・新規求人は主な産業別では前年同月比で宿泊業・飲食サービス業が83.3%、増加した一方で、生活関連サービス業・娯楽業が93.8%、運輸業が85.7%、建設業が51.4%、サービス業が40.9%、製造業が17.1%、医療・福祉が5.6%、卸売・小売業が2.2%、減少しました。
- ・新規求職申込件数は214人と、前月に比べ5.9%増加し、前年同月比では1.9%増加しました。
- ・このため、9月の当所管内における雇用失業情勢は、月間有効求人数1,441人に対し、月間有効求職者数909人で、有効求人倍率は、1.59倍となり、先月より0.01ポイント低下しました。



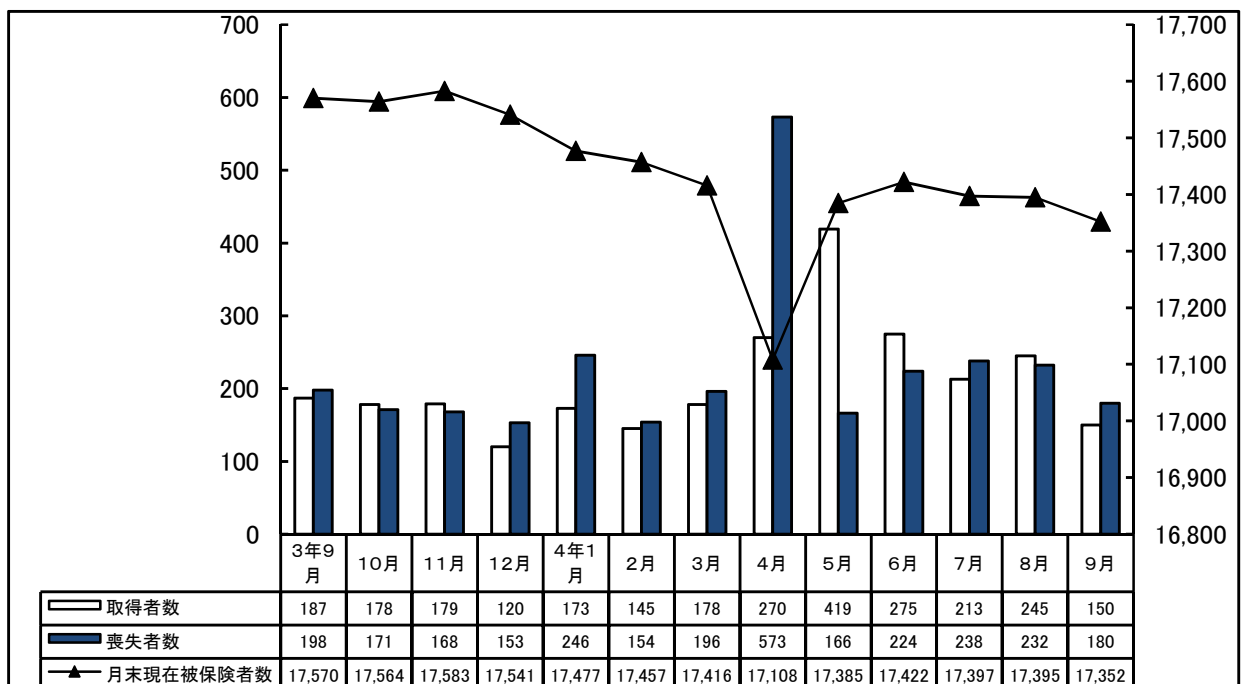


雇用の動き(9月内容)



一般職業紹介状況		(パートタイムを含む)		
項目		当月	前月比(%)	前年同月比(%)
求職関係	新規求職者数	214	5.9	1.9
	うち45歳以上	108	▲ 6.9	▲ 3.6
	有効求職者数	909	1.0	6.1
	うち45歳以上	518	▲ 1.3	6.8
求人関係	新規求人数	540	13.7	▲ 22.3
	うち常用	514	12.2	▲ 21.8
	有効求人数	1,441	0.0	▲ 24.6
	うち常用	1,379	0.4	▲ 23.6
紹介関係	紹介件数	195	10.8	▲ 11.0
	うち常用	185	12.1	▲ 7.5
就職関係	就職件数	79	▲ 2.5	▲ 24.0
	うち常用	76	1.3	▲ 20.0

雇用保険適用状況		当月	前月比(%)	前年同月比(%)
被保険者関係	資格取得者数	150	▲ 38.8	▲ 19.8
	資格喪失者数	180	▲ 22.4	▲ 9.1
	月末現在被保険者数	17,352	▲ 0.2	▲ 1.2



デジタル分野などの社員教育に 人材開発支援助成金をご活用ください

国民の皆さまのアイデアをもとに「人への投資促進コース」を創設

「人への投資促進コース」の助成メニュー

IT分野未経験

ITやデジタル分野で即戦力となる人材を育成したい

情報技術分野（IT分野）認定実習併用職業訓練【新設】

IT分野未経験者を即戦力化するための訓練を実施する事業主への高率助成。

IT
未経験者
OK!

デジタル／成長分野

高度デジタル人材・高度人材を育成したい

高度デジタル人材訓練／成長分野等人材訓練【新設】

高度デジタル人材を育成するための訓練や、大学院での高度な訓練を行う事業主への高率助成。

サブスクリプション

オンラインの定額受け放題サービスで効率的に訓練を受けさせたい

定額制訓練【新設】

サブスクリプション型の研修サービスによる訓練への助成。

自発的能力開発

労働者の自発的な学び直しの費用を支援したい

自発的職業能力開発訓練【新設】

労働者が自発的に受講した訓練費用を負担する事業主への助成。

教育訓練休暇

労働者の自発的な学び直しのための時間を確保したい

長期教育訓練休暇制度／短時間勤務等制度【拡充】

働きながら訓練を受講するための休暇制度や短時間勤務等制度を導入する事業主への助成。

- ・「人への投資促進コース」の他にも、訓練対象者（正規雇用労働者や非正規雇用労働者）にあわせて、助成メニューをご用意しています。
- ・すべての訓練コースでオンライン（eラーニング）による訓練も対象としています。
- ・詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。お近くの労働局へお問い合わせください。

人材開発支援助成金

検索



活用例は裏面へ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

都道府県労働局・ハローワーク

LL040428開企01

「人への投資促進コース」の活用例

IT分野未経験者にIT関連の訓練を行った場合

資格試験料も助成の対象です！

課題

IT未経験の従業員にも、ITの内容を覚えてもらい、**即戦力として働いてほしい！**



事業主

訓練

- 訓練コース プログラミング (1名)
- 訓練内容
スマート端末上の開発に必要なプログラミング言語の習得等、OJTで実際に発注を受けたシステムの構築。
OFF-JT時間：800時間 訓練経費：70万円
OJT時間：200時間
- ITSSレベル2に相当する資格試験の受験
訓練経費：5万円

助成金を活用

助成内容 (中小企業の場合) ・ 成果

- 助成率・額
経費助成：60%
賃金助成：1時間あたり760円
OJT実施助成：200,000円
- 助成額 (左記の訓練内容の場合の例)
経費助成：450,000円 (資格試験料を含む)
賃金助成：608,000円
OJT実施助成：200,000円
- 成果
IT未経験者にも、基本的な言語の習得や、実際に顧客から発注を受けたシステムの構築を、自社の従業員から丁寧にレクチャー。
未経験者から一人前のSEに成長させることができた。高額で手が出せない資格も、助成金があることで、取得させることができた。



高度なデジタル分野の訓練を行った場合

他のコースより高い助成率・助成額で支援します！

課題

高度なデジタル分野の資格を取ってもらい、**核となる人材として働いてほしい！**



事業主

訓練

- 訓練コース
プロジェクトマネージャ試験対策講座 (1名)
- 訓練内容
プロジェクトマネージャ試験対策のための訓練。
訓練時間：30時間 訓練経費：20万円
- ITSSレベル4に相当する資格試験の受験
訓練経費：8万円

助成金を活用

助成内容 (中小企業の場合) ・ 成果

- 助成率・額
経費助成：75%
賃金助成：1時間あたり960円
- 助成額 (左記の訓練内容の場合の例)
経費助成：210,000円 (資格試験料を含む)
賃金助成：28,800円
- 成果
資格を取得して専門的な知識を身につけることで、**管理職として活躍してもらうことができた。**
高度な資格を保持していることが会社の**アピールポイント**にもなっている。



サブスクリプション型の研修サービスで訓練を行った場合

課題

様々なコンテンツの中から、従業員1人ひとりに合った訓練を行い、**知識を深めてほしい！**



事業主

訓練

- 訓練コース 営業職研修受け放題講座 (40名)
- 訓練内容
新入社員から管理職までの幅広い層に対応した営業職に関するeラーニング訓練。
訓練経費：42万円
(1名~50名まで1か月3.5万円×12月の料金)

助成金を活用

助成内容 (中小企業の場合) ・ 成果

- 助成率・額
経費助成：45%
- 助成額 (左記の訓練内容の場合の例)
経費助成：189,000円
- 成果
1つの訓練契約で幅広い層に訓練を行うことができ、**企業全体の生産性向上に繋がった。**

